

オイスカ in 四国

<http://www.oisca459.org/>

オイスカ(OISCA)の意味

O...Organization (機構) I...Industrial (産業) S...Spiritual (精神) C...Cultural (文化) A...Advancement (促進)

Vol. 7

2010年6月



植林活動にも積極的に参加する研修生



contents

尾瀬山植林ボランティア

**オイスカ四国「山・林・SUN体験」
植林ボランティアに252名が集結**

特集記事 『**四国のつどい in 香川**』

支局活動の紹介 坂出支局 三豊支局 中讃支局 徳島県支局 愛媛県支局

2009年度下半期のあゆみ

あなたもオイスカ活動をサポートしませんか？

オイスカ四国支部 新旧会長挨拶

オイスカ支援のお願い



オイスカ会員募集中

オイスカの活動は、皆様からの会費やご寄付によって支えられています。私たちは、思いを同じくする方々の参加を常にお待ちしています。個人、法人を問わず、どなたでもオイスカの活動に参加・協力できます。以下の方法から、皆様の思いをかたちにする方法をお選びください。



法人	特別法人会員	年会費一口:100,000円※1
	維持法人会員	年会費一口:40,000円※1
個人	特別個人会員	年会費一口:50,000円※1
	維持個人会員	年会費一口:20,000円※1
マンスリー会員		月額:2,000円※2

※1 現金支払い、銀行からの納入。何口でもお申し込みできます

※2 クレジットカード/銀行・郵便振替による毎月自動引き落としが可能です



『子供の森』計画の支援者募集中

現在、熱帯地域の森林面積は急激に減少しています。熱帯の天然林は、平成2年から平成12年までのデータでは毎年1,420万haずつ失われたとされています。これは、本州の3分の2の面積に相当します。

オイスカでは森林保護を、人類共通の重要な課題、また一人ひとりの身近な課題として捉え、さまざまな活動を展開しています。その一つの活動として「子供の森」計画に取り組んでいます。

「子供の森」計画は、子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を植え育て、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。この実践活動を通じて「自然を愛する心」「緑を大切にしたい気持ち」を養います。



年間支援金 / 1口 5,000円 (個人・法人とも)

・郵便振替、コンビニエンスストアからのお振込み ・何口でもお申し込みできます

税務上の優遇処置

オイスカに対する年額5,000円以上の寄付金、会費支援金で税控除が適用されます。ご送付いたします領収書を確定申告時、法人(企業)では、決算時の税務申告にご活用ください。

お問い合わせ先

■四国支部	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	☎(087)821-1503
◆高松支局	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	☎(087)821-1503
◆坂出支局	〒762-0011 香川県坂出市江尻町1721-10 (磯石井内)	☎(0877)45-0141
◆三豊支局	〒769-1502 香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3 (柳イナダ内)	☎(0875)56-6001
◆香川東支局	〒769-2304 香川県さぬき市昭和5806 高松東ファクトリーパーク さぬき市管理組合内	☎(087)899-1111
◆中讃支局	〒763-0034 香川県丸亀市大手町3丁目-2-1 (四国連力丸亀営業所内)	☎(0877)22-5973
◆綾川支局	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1 (オイスカ四国研修センター内)	☎(087)876-3333
◆徳島県支局	〒770-8555 徳島県徳島市寺島本町東2-29 (四国電力徳島支店総務課内)	☎(090)3181-0158
◆愛媛県支局	〒790-0925 愛媛県松山市鷹子町588-3 (東子産業(株)内) http://www.oisca-ehime.com/ E-mail lovegreen@oisca-ehime.com	☎(089)970-3100
◆高知県支局	〒780-0870 高知県高知市本町1-6-24 (高知商工会議所総務部内)	☎(088)875-1177
■四国研修センター	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1 http://www.oisca459.org/ E-mail oiscastc@oisca.org	☎(087)876-3333

▶▶ 編集後記

初めての事務仕事でいきなり『オイスカ in 四国』の編集をお手伝いすることになり、何をしたら良いのかもわからず不安でいっぱいでした。しかし、仕事が進んでいくうちに発行までの仕組みを学べて、会員の皆様や支部・支局と研修センターのつながりが見えて良い経験になったと思います。(な)



四国支部

「木を植えることは
心に『気』を植えること!!」



参加者集合



右:杉村植林委員長も大活躍 力仕事は男性研修生におまかせ さぬき名物「しっぽくうどん」の炊き出しに並ぶ参加者

オイスカ四国支部
「山・林・SUN体験」
植林ボランティアに
252名が集結

平成21年11月15日(日)オイスカ四国支部が主催する「山・林・SUN体験」が香川県まんのう町で開かれ、四国各地から252名が参加し、山林火災にて焼失した山の緑化に貢献しました。この活動は、四国電力総連とオイスカ四国支部が主体となり、地域と労働組合が一体となって参加できる組織的ボランティア活動の一環として、平成21年で14回目を数えています。今回植林を実施した「尾瀬山」は、昨年1月に発生した山林火災により、約0.3haの緑が焼失してしまいました。このため、1千本の山桜を植林することとし、各関係者と準備を進めてきました。

植林の方法については、開会式の後に全員がレクチャーを受けました。最初に、一定の間隔でつるはしを使って穴を掘り、苗木を入れます。そして、石を取り除いた土だけをかき寄せ、水がたまるようにくぼみをつけて土を踏み固めます。初めての植林作業をするという方もおられましたが、参加者全員で協力し、予定されていた1千本の苗木を無事に怪我もなく植えることができ、昨年同様大成功となりました。

参加者の方からは、「二家で植林活動ができて、ボランティアについて考えるきっかけとなった。今後も参加していきたい。早く大きくなって桜一杯の山になってほしい。」などの声をいただきました。また植林後は、昨年に引き続き炊き出しを行いました。前日から現地にて「しっぽくうどん」を準備しました。

尾瀬山協働の森づくりの
三者協定を結ぶ

平成22年3月には、まんのう町にて、まんのう町外三ヶ市町(七箇地区)山林組合(組合長 栗田まんのう町長)、仲南町森林組合(千葉宗和代表理事組合長)、オイスカ四国支部(佐藤忠義会長)で森づくり活動の協定を結びました。平成22年度からの5年間で、尾瀬山2.5haに山桜を毎年1千5百本ずつ植えることになりました。引き続き、植林ボランティアの皆様のご協力をお願いいたします。



サインした協定書を手にする(左から)佐藤氏、栗田氏、千葉氏 =まんのう町役場

四国支部

四国のつどいに香川

オイスカは何をしているの?国際協力って何?とオイスカをよくご存じない方に、オイスカ活動を通じた国際協力を理解して頂くために「四国のつどい in 香川」を開催しました。

中野良子オイスカ総裁の話、功労者の皆様の表彰、ロンボク植林の報告を行いました。研修センターの研修生から研修報告スピーチや大型紙芝居「モアイの涙」そして日本の唱歌を発表しました。研修

報告ではフィリピンのセシルが、「オイスカは私の恋人です。日本で体験するすべてのことを吸収したい。地元でオイスカ研修センターを作り有機農業に取り組みたい」とスピーチをしました。また、研修生は「春が来た」、「里の秋」などの唱歌を堂々と歌い、最後の「ふるさと」では参加者の皆様と一緒に、会場いっぱい響き渡る大合唱になりました。

四国支部
日本を紹介!見学会の実施
(平成21年)

ほたる見学会



お面をつけたおかめ踊りを一緒に踊りました

6月、「阿波十郎兵衛屋敷」などを見物した後、吉野川市山川町ボランティア協会の皆様と交流を行いました。この交流の輪は年々広がり、

日本独自の音楽や舞踊を披露して頂いたり、研修生からダンスなどを披露したりと双方に異文化を知ることができました。また、日本でホタルを見るのは初めてという研修生は、日本では環境の変化で減ってしまったホタルを地域が協力し合い、再び呼び戻そうとする活動を学びました。

四国総合研究所見学

9月、四国電力グループの株式会社四国総合研究所を見学しました。最新のバイオテクノロジーや農業技術、DNA解析技術を学び、雷の発生状況の測定など興味深い研究を見学しました。特に、

ロックウールを使った水耕栽培についてたくさんの質問ができました。



DNA分析方法を体験

伊方原子力発電所見学

10月、四国電力の伊方原子力発電所のご協力により、見学が実現しました。原子力発電所の仕組み、日本のエネルギー事情や環境に配慮した取り組みなどを勉強しました。研修生の国では、到底経験出来ない貴重な機会になりました。



大規模な発電所に驚きました



環境の大切さを訴える大型紙芝居「モアイの涙」



佐藤支部会長開催挨拶



インドネシア ロンボク植林の貴重な体験を発表



会員継続20年の功労をたたえ表彰



参加者の方も一緒に唱歌を合唱しました

坂出支局

植林のフォローアップと事前調査

平成22年3月7・10日まで坂出支局石井会長と宮崎副会長でインドネシアのロンボック島のマタラム市に行ってきました。目的は、①7月に予定している四国支部主催の植林の事前調査②平成21年7月に植樹した苗木の確認③坂出白峰ライオンズクラブ45周年記念事業の小学校支援の打合せのためでした。

プロジェクトを成功させる為、日頃より現地政府の要人と良好な関係をつくることは、特に開発途上国では重要です。今回は、ロンボック島にある西ヌサランガラ州、西ロンボック県へ表敬訪問をし、植林の協力要請をしましたところ、9年間の植林のお礼と感謝の言葉を頂きました。一つ残念なことは、今まで大変お世話になっていた前知事のイスカンダール氏が亡くなっておられたことです。早速、お悔みに参り、奥様や娘さんにお会いし、弔意を申し送りしました。

西ロンボック県知事アロニー氏は、一年ぶりの再会で良く覚えておられ、各部署の方々20名ほどの出迎えを受けました。植林候補地の紹介や植林状況及び保健や教育事情等の説明を受け、今回の小学校支援も大変喜んでいただくことが伝わってきました。

ライオンズクラブの記念事業で

は、小学校に図書室と保健室を建設する予定です。坂出支局が、現地のライオンズクラブ、オイスカインドネシアを繋ぐ役割を果たしています。今回は建設予定地及び教室の設備を見学し、郡長及び村の長老や先生と打合せを行いました。

また、記念植林したナルマダ公園を訪れ、マンゴスチンの木が育ち、名札がきちんと残っているのを確認いたしました。実際に植樹した木が育ち、私たちの足跡を見ることができ感無量でした。

今年もロンボック島で植林を実施する予定です。10回目の記念に花を添える様大勢の皆様参加をお待ちしております。



昨年ナルマダ公園で記念植林したマンゴスチンの名札がきちんと残っているのを確認

お土産のトラの張子には黄年として大変喜ばれた

三豊支局

カンボジアで！地域で！植林活動

今後人づくり、共育・地球環境を推進できるよう活動していく予定です。

平成17年から開始したカンボジアでの植林活動は平成21年11月、5年間計画の植林を終えました。もともと、世界遺産のアンコールワットを風水害から守ろうと周辺の気候に合う樹種を毎年4千本ずつ合計約2万1千本植えました。参加者は5年間で延べ151人にもなりました。

植林は平成13年5月に設立されたオイスカ・カンボジア総局とアンコールワット森林局と連携をとりながら現地の学生・村人・州政府・日本からのボランティアの協同植林でした。

この5年間の継続支援に対し、フン・セン首相から表彰状とゴールド、シルバーのメダルを授与されました。植樹は植林作業のほんの一面で、森になるのには管理作業が必要です。そのため、毎年植林後の3年間メンテナンスの費用を支払い管理をお願いしています。

また、海外植林だけではなく、地元でも植林活動を行っています。ここ2年間、観音寺市立一ノ谷小学校(主催)一ノ谷青少年育成会の卒業記念植樹に観音寺東ロータリークラブと共に連携して、苗木代の支援の他、卒業生の皆さんと一緒に植樹をしました。これからは山の管理をされる一ノ谷保全委員会の皆さんに陰ながら協力していきます。



カンボジアの子供たちと日本から参加したボランティア



一ノ谷小学校の皆さんと四国研修センターの研修生が協力して植樹しました

中讃支局

研修センターを陰ながら支える活動

毎月第四土曜日、丸亀市通町商店街で「よってきなあ〜みたから市」が開催されています。もともと、閉店したシャッターが多いアーケード街を活性化しようと始まったイベントです。中讃支局では、平成21年6月よりオイスカ産直市として出店し、オイスカの農産物を販売しています。若いオイスカ職員やボランティアさんなどが頑張っている様子を見て、少しでも売り上げの足しになればと、研修センターと連携をとりながら出店のサポートをするようになりました。

一番の目玉はオイスカの国際色豊かな特徴を生かしたカレーの販売です。月毎にスリランカ、インド、インドネシアのカレーなどにジャスミンティあるいは様々な国のお茶を添えて販売しています。他にも有機野菜、平飼いの卵、ジャムや漬物も売ります。会員の方に呼びかけたり、オイスカをご存じない方にはパンフレットの配布をしてアピールしたりしています。

また、中讃支局のメンバーである国際ソロプチミスト丸亀が主催する「国際交流の夕べ・国際親善クリスマスパーティー」にも協力しています。クリスマスも近い毎年12月に開催しています。例年、研修生がそろそろ1年の研修を終えようとしている時期なので、研修でがんばったご褒美に

心温まる交流で歓迎していただきます。参加者の皆様と一緒に、瀬戸大橋の夜景を見ながらシェフ自慢の料理を頂き、歌を歌うなど楽しいひと時を過ごします。

その他にも丸亀うちわ作り体験に研修生を招待しています。研修センターが盛り上がるように、研修生に日本の良さを知ってもらえるように、そしてオイスカの知名度が一般の方に広がるように陰ながら応援をしています。



みたから市の様子

フランスの衣装を着てアロハ



オイスカ産直市

徳島県支局

「葉っぱビジネス」の見学会

徳島県支局では、海外研修生に徳島県の魅力を知ってもらい、日本で様々な体験を深めるお手伝いをしています。これまでも勝浦町の「ピックル祭り」の見学などを実施してきました。

平成21年8月、四国電力徳島支店に協力を頂き、四国電力連の皆様と一緒に阿波踊りにオイスカの研修生と参加しました。なんと、阿波踊りは徳島県が世界に誇る文化です。研修生は、大勢の踊り子さんやそれを見学する観客の賑わいに最初は驚いていたものの、いつしか大きな声を出し元気に踊りまわりました。

10月、上勝町の「葉っぱビジネス」の見学会を実施しました。「葉っぱビジネス」とは、「つまもの」、日本料理を美しく彩る季節の葉や花、山菜などを販売する農業ビジネスのことです。これは、上勝町在住の横石知二氏が地元の活性化・町おこし事業として考案し、働いているとして立ち上げたものです。横石氏は現在、働いている社長をつとめられています。このいろいろを訪問し、このビジネスの成り立ち、また地域活性化の多くの取り組みやその成果について講義をして頂きました。研修生は、過疎や高齢化の問題を乗り越えようとする取り組みを学び、各国での農村発展のよい参考になったそうです。ま

た廃校を利用した宿泊・体験・交流施設「自然の宿 あさひ」では、釜焼きピッツア作りを体験しました。廃校を使った施設利用についても、研修生にとつて新しい発想になりました。その後は自然豊かな高丸山を散策し、紅葉を楽しみました。このような取り組みは支局の皆さんも参加し、よい交流の場にもなっています。



「徳島県立高丸山千年の森」ボランティアガイドさんによる森の学習

「ヤットサー、踊りはオイスカー！」汗だくになって踊りました



オイスカの活動に参加しませんか?

人材育成

国際協力の分野では人材の育成がとて重要。日本に受け入れての国内研修では、農業や工業などの技術面の指導だけでなく、さまざまな困難に耐えうる強さや他と調和できる柔軟性などを培うため、規律ある日常生活を通したオイスカ独自の研修プログラムを実施しています。



国内外研修センターでの農業研修



地域で活躍するOB



女性生活改善研修

農村開発

オイスカは活動開始当初の1960年代、食糧危機に苦しむ人たちのため、日本から技術者を派遣して農業技術の普及に努めました。現在も、農村部の人々が衣食住を満たしながら自然とも調和した暮らしを実現できるように、地域の住民とともに対策を考え、持続可能な開発を展開しています。

環境保全

近年、地球温暖化問題が深刻になるなか、二酸化炭素を吸収してくれる森林の役割がますます高まっています。また、森林は水を蓄える力があるため、農村開発に欠かせません。そのためオイスカでは、農村開発と併行して各地で緑化活動を行っています。



日本各地での植林活動



海外植林活動



環境教育「森のつみ木広場」

普及啓発

日本各地で国際理解や環境保全に関するセミナー、農業や森林整備の体験活動を実施。また、日本から海外へ年間1000名を超える植林ボランティアを派遣しています。さらに、子どもたちを対象とした学校林保全活動や「森のつみ木広場」を実施するほか、国際社会への提言など、幅広い取り組みを行っています。

愛媛県支局

みんなの気持ちが集まった『みんなの森』植林

平成22年3月28日に「オイスカの森」inえひめで第8回目となる植林を行いました。この春は天候が落ち着かず、当日のお天気も変わりやすいので例年以上に気がかりでしたが、穏やかな日になりました。

今回の特徴は、何といっても平均年齢がとて若いことです。参加者のうちの半数近くが高校生でした。研修センターの研修生と積極的に交流している生徒さんもいました。植林現地に向かう前には、森林保全活動をしている方から、数々の森の役割のうち今回は特に「森が水をつくる」ことについて教えていただきました。えひめ学生森林ボランティア連絡協議会の大学生の方も加わって、森の木の量を計測する実演をしたり、クイズをしたり、参加者の皆さんに楽しみながら「木を植える意味」をよく理解していただけたと思います。

平成15年から松山市の水源涵養林に植林をしています。近年は植林をする場所がだんだん急傾斜になってきました。そこで、大勢では危険かと100人くらいの参加を予定にしていたのですが、結局204人の参加となりました。大勢になったことで怪我のないようにと気を配りながら、500本の苗木を急斜面に丁寧に

に植え、無事に終了しました。

植林後は平成16年に植林した緩い斜面の方へ移動し、成長した木々の間でのおにぎりとおにぎりを食べました。遠くに霞んだ瀬戸内の海を見つけた人もいます。その海へ「水」で繋がっているのを感じてくれる人が一人でもいたら、今回のオイスカの森の植林は成功です。



元気に育ちますようにと、いつものように植えた苗木にエールを送りました



急斜面で頑張っている参加者の皆様

2009年度下半期のあゆみ

10月	11月	12月	1月	2月	3月
20日(火) 伊方原子力発電所見学/愛媛のつどい	1日(日) 女性部お茶会/丸亀ソロブチミストバザー	1日(火) 国際ソロブチミスト丸亀(中讃支局)国際交流の夕べ	17日(日) バザー(坂出支局)	7日(日) 農業指導OBモーウィン入所	2日(火) イスラエル総局カツイール氏講話
22日(木) 徳島県上勝町見学	4日(水) 研修旅行(4~7日)	4日(金) 修了式	23日(火) 観音寺市立一ノ谷小学校 記念植樹	16日(火) 観音寺市立一ノ谷小学校 記念植樹	12日(金) 観音寺市立豊田小学校交流
23日(金) 綾川町立陶小学校稲刈り交流	9日(月) 善通寺未来クルパーク(ゴミ処理場)見学	10日(木) 修了生上京/あん雑煮を食べる会(香川女性部)	24日(水) 坂出市立府中小学校交流	23日(火) 鳴島ロータリークラブ例会	14日(日) 委託研修生入所
25日(日) さぬき三木ライオンズクラブ交流	13日(金) 高松市立国分寺北部小学校交流	12日(土) 修了生帰国	26日(金) 有機農業研修生(4名)・家政研修生(1名)入所	24日(水) 坂出市立府中小学校交流	14日(日) 委託研修生入所
26日(月) えひめグローバルネットワーク見学	14日(土) 沖縄植林(14~19日)			26日(金) 有機農業研修生(4名)・家政研修生(1名)入所	28日(日) 愛媛県支局植林
29日(木) 直島中学校交流	15日(日) 植林(まんのう町)				31日(水) 栗林公園散策
30日(金) 岡山大学見学	27日(金) 広島原爆ドーム見学				

※森のつみ木広場を16回実施

オイスカ四国支部新旧会長挨拶

退任の挨拶

佐藤 忠義

私は平成22年4月1日付でオイスカ四国支部会長を退任いたしました。平成5年4月オイスカ四国支部創立以来のことですので、会員を始め関係の皆様に変なご支援ご協力を賜りましたことを改めて厚くお礼を申し上げます。顧みずとオイスカ四国支部も草創期から成長期を経てオイスカ創立40周年頃迄は右肩上がりの順調な経過を辿ったかに存じますが、その後折からの世界的な経済不況の影響から会員減少に転じ、現在に至っております。さてオイスカはその活動を会費収入に依存するところが大きいのでありますが活動源が減少しますことは、オイスカ活動の推移に大きく影響することになります。オイスカの将来を想いますとき前途多難を想わすのでありますが、人間は逆境の時こそ、その真価が問われるといわれます。オイスカ活動にとっても同じであります。耐えるべき時には、じっくり耐え、今こそよき知恵を働かせる時となりました。オイスカ四国支部としてのオイスカ活動に、また四国研修センターの運営に、従来にも増して会員同志のご協力ご支援が必要となります。私共はオイスカ精神に共感し、その活動に意義を見だして参加した者であります。今こそオイスカの原点に戻ってオイスカの発展に力を尽くしたく願うものであります。かく申す私自身、会長職は辞任いたしますが今後とも一会員としてオイスカ活動に協力を惜しまぬものであります。最後にオイスカ活動の発展と会員各位の今後一層の御活躍を祈念して退任のご挨拶といたします。

新任挨拶

山野 善正



この度、会長に就任いたしました。第二次大戦後、日本自身がまだ十分復興していない時期から、主として南アジアで農業を中心にボランティア活動をはじめられたオイスカの先達に敬意を抱きつつ、先人の業績を引き継ぎたいと思っております。佐藤前会長の大い実績を無駄にしないように努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

プロフィール

昭和38年京都大学農学部卒業後、東洋製缶で勤務を経て、昭和43年香川大学農学部食品学科講師。昭和45年より助教授に就任。米国ミズーリ大学、オランダ農業大学、豪ニューサウスウェールズ大学食品科学工学科での研究実績。昭和59年より香川大学教授、平成11年より香川大学農学部部長、平成14年香川大学名誉教授。現在、おしらの科学研究所理事長。平成10年よりオイスカ会員。平成13年よりオイスカ香川東支局長。